

# 令和元年度 会派調査研究報告書

(視察先 1 箇所につき 1 枚)

会 派 名	石合祐太
事 業 名	先進地視察「福知山公立大学について」
事 業 区 分	① 研究研修                      ② 調 査

## 1 上田市での課題と研修・調査の目的

平成 29 年 4 月 1 日に長野大学が上田市を設立団体とする公立大学法人長野大学として生まれ変わり 3 年目であるが、受験者数が激増、偏差値が急伸した状況がある。

今回視察に行かせていただいた福知山公立大学は市と民間の公私協力方式の私立大として 2000 年に京都創成大学として開学、10 年に成美大学に改称した。しかし、定員割れが続いて経営難に陥り、今年度から公立化し再スタートし、長野大学と同じように受験者数・偏差値ともに大きく伸びている点が共通する。

公立化後、抱えている課題を整理し、今後の大学改革への提言につなぐべく調査を行ったものである。

## 2 実施概要

実施日時	視察先	京都府福知山市
令和 元年 7 月 17 日(水) 午後 14 時 30 分～16 時 30 分	担当部局	福知山市市長公室大学政策課
報告内容（感想、市政に活かせること）		
1. 視察先の概要 人口 79,095 人 面積 552.54 km <sup>2</sup> 発足 1937 年 4 月 1 日		
2. 視察先の特徴 府北西部に位置し、西は兵庫県と接する。京都市からは 60km、大阪市からは 70km の距離にあり、明智光秀が築いた福知山城を中心とした城下町として栄えた。明治以降は北近畿の鉄道・道路の要衝で商都として発展。近年は国内有数の内陸型工場団地を有する。市域の林野率は約 76% と山間部が多く、郊外では多種多品目の農林作物が栽培されている。		
3. 視察事項について (1) 成美大学が福知山公立大学に移行する経過について 平成 22 年：成美大学に改称 26 年：公立大学設置基本計画「教育のまち福知山『学びの拠点』基本構想」策定 27 年：「公立大学設置準備委員会」設置、福知山市議会が公立化（開学予定 2016 年 4 月）に向けた関連議案を可決 28 年 4 月 1 日：福知山公立大学に移行。		

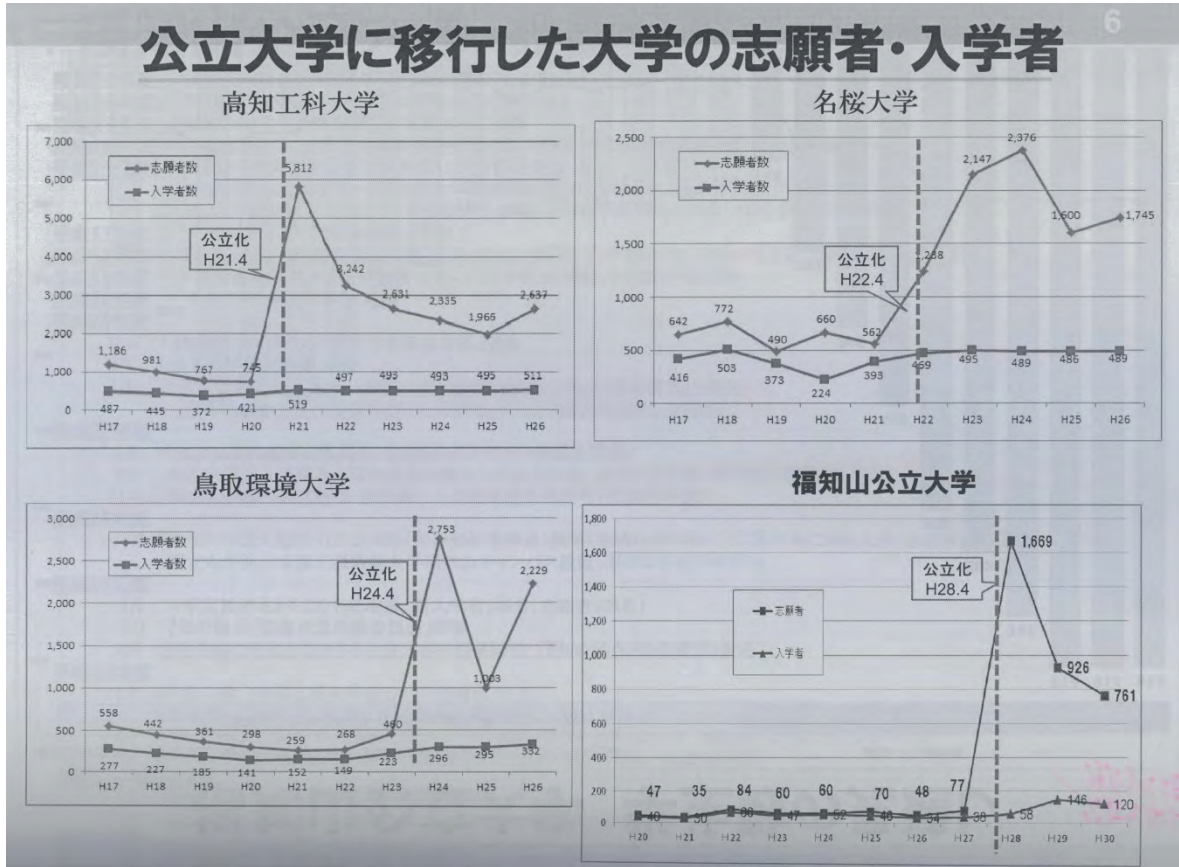
29年：情報学部の新設を柱とする公立大学の将来構想『知の拠点』整備構想」策定

(2) 学生数、志願者数、財政状況について

学生数：令和元年 469名（30年度 366名、29年度 267名）

見通し：令和2年 606名、令和5年以降 814名

志願者数について、公立移行他大学と比較し公立化以降の低迷が見られる。収支も現状のままの



福知山公立大学財政試算(経常経費)

■試算の前提条件

収入 入学定員・学生数の試算 平成32年度を目途に2学部2学科体制に移行。地域経営学部100名、情報系学部100名の合計200名(別途編入入学定員あり)で算出。

収入 運営費交付金 ①学生数に応じた地方交付税分。(地域経営学部:212千円、情報系学部:1,460千円と想定し算出。) ②従来予定していた収支不足分と開学後に生じた人件費(共済費)等の経費増加分の合算額(合計897百万円)。 ③新学部設置等のための先行投資分(合計246百万円)。大学収支安定後、運営費交付金で調整(9ヵ年で246百万円)。

支出 人件費 現在の教職員の給与水準に基づき算出。学生増加や新学部設置にあわせて計画的に教職員を増員。

支出 教育研究費、管理経費 現在の経費水準を基礎に平成30年度から35年度までは学生・教員の増加や外部研究費の獲得等に応じた経費増加を想定し算出。2学部の全学年がそろそろ平成35年度以降は外部資金に基づく研究費を除き各経費の水準を固定して算出。

■収支の状況(投資的経費を除く) (単位:百万円)

	第1期中期計画(6年間)							第2期中期計画(6年間)						
	H28	H29	H30	H31	H32 (開学年度)	H33	累計	H34	H35	H36	H37	H38	H39	累計
収入														
1. 授業料 (@576千円)	81	140	212	265	344	374	1,416	421	469	469	469	469	469	2,768
2. 入学金 (@282千円)	65	37	36	58	58	58	312	58	58	58	58	58	58	348
3. 検定料 (@17千円)	16	10	10	17	18	19	90	20	20	20	20	20	20	120
4. 運営費交付金	310	307	282	281	420	445	2,045	524	647	642	642	642	642	3,739
①地方交付税分	34	49	83	98	251	387	902	532	677	677	677	677	677	3,917
②収支不足分	276	258	199	124	20	20	897	-	-	-	-	-	-	-
③先行投資分	-	-	-	59	149	38	246	▲8	▲30	▲35	▲35	▲35	▲35	▲178
5. その他補助金(国・府・市等)	18	26	34	27	22	24	151	25	32	39	46	53	60	255
6. その他収入	11	12	25	29	32	39	148	45	53	56	59	62	65	340
収入合計	501	532	599	677	894	959	4,162	1,093	1,279	1,284	1,294	1,304	1,314	7,568
支出														
1. 人件費	313	353	385	442	570	598	2,661	653	736	736	736	736	736	4,333
2. 教育研究費	97	100	126	143	221	252	939	287	325	335	345	355	365	2,012
3. 管理経費	63	79	88	92	103	109	534	117	121	121	121	121	121	722
支出合計	473	532	599	677	894	959	4,134	1,057	1,182	1,192	1,202	1,212	1,222	7,067
収支差額	28	-	-	-	-	-	28	36	97	92	92	92	92	501

■学生・教職員の人数の前提

	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39
学部・学科の構成及び定員(人)												
地域経営学部	50	120	120	120	100	100	100	100	100	100	100	100
情報系学部	-	-	-	-	100	100	100	100	100	100	100	100
編入	7	7	7	7	5	5	7	7	7	7	7	7
合計	57	127	127	127	205	205	207	207	207	207	207	207
学生数の状況(人)												
4学年合計	148	267	368	461	597	650	732	814	814	814	814	814
教職員数(人)												
専任教員	23	23	24	26	35	36	38	43	43	43	43	43
専任職員	13	13	15	15	17	19	22	25	25	25	25	25

推移であれば、志願者の減少幅に鑑み、厳しい運営が予測される。

(3) 開学によるメリットについて

イ. 教育の質の向上

①主体的な学びの支援

②高大接続の入学選抜方法の策定－北近畿 50 の高校と連携

③学位授与の明確化

ロ. 業務運営の改善及び効率化に関する目標達成

①学長中心の管理体制－理事長（学長）を中心とし、教員、職員、学生がそれぞれの特性を活かし、協力して法人経営・大学運営に取り組む。

②外部意見の取り込み－福知山市議会や公立大学法人福知山公立大学評価委員会、市民、企業、各種団体等からの要望や意見を真摯に受け止め、法人経営・大学運営に反映する。

(4) 第 1 期中期計画（平成 28 年 4 月～平成 34 年 3 月）で未達成の内容について

①人事評価制度の導入－試行中

②自己財源の増加－大学施設利用料について未徴収

(5) 学部再編等の新たな施策について

2020 年度設置に向け、情報学部の認可申請中

(6) まちかどキャンパス吹風舎（ふくちしゃ）

大学教職員・学生が集い、地域の方々との相互交流の場として機能している。大学から事務の方が詰めておられ、サポートをされている。図書館、ギャラリー、放送局、ゼミ活動拠点、公開講座、地域共同企画事業の場としての役割をめざしている。



【まとめ・市政に活かせることなど】

お話をお聞きする中で、理事長と学長が同一の方であるということがわかり、長野大学との違いである。

また、地元以外の学生が多くを占める状況も共通し、卒業後の地域への定着が大きな課題である。

人事評価制度への取り組みもこれからということであり、職員の人材育成を基軸に据えた評価制度について検討と具体を進める必要を感じたところである。

長野大学より 1 年早く公立化した福知山公立大学で抱えている課題は長野大学は直面し、対処しなければならない課題でもある。引き続き、動向を注視し市民に開かれ、多くの方の期待に応える公立大学法人の運営に対して設立団体である市としてより積極的に提言していけるよう、今回の調査を参考としてまいりたい。